

①情報収集

最新の気象情報を区のホームページやねりま情報メールで確認しましょう。
(上記のQRコードから確認できます)

練馬区ホームページ
ねりま情報メール(要登録)

②避難の判断と準備

浸水に備え、土のう・水のう・止水板の準備や、強風に備え、雨戸・シャッターを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ

避難の呼びかけやお年寄りの避難支援など、近所の皆さんで助け合いをしましょう。

④早めの避難

自身と家族の身の安全を十分に確保しながら、貴重品や食料、毛布等を持参し、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。

防災無線自動音声応答サービス

防災無線から放送された内容を、電話で確認することができます。「防災無線自動音声応答サービス」を行っています。24時間以内の放送内容が確認できます。
電話：0120-707-111 (通話無料)
※また、防災無線の放送内容を文字化して、「ねりま情報メール」で自動配信するとともに、区のホームページでも確認できます。

川から離れた地域

川から離れた場所でも、降った雨が排水しきれずに、道路が冠水する可能性があります。

西東京市の防災・災害情報

西東京市危機管理課
電話：042-438-4010
HP: 右のQRコードからアクセスできます。

道路がぼんでおり、側溝に落ち葉がたまりやすい

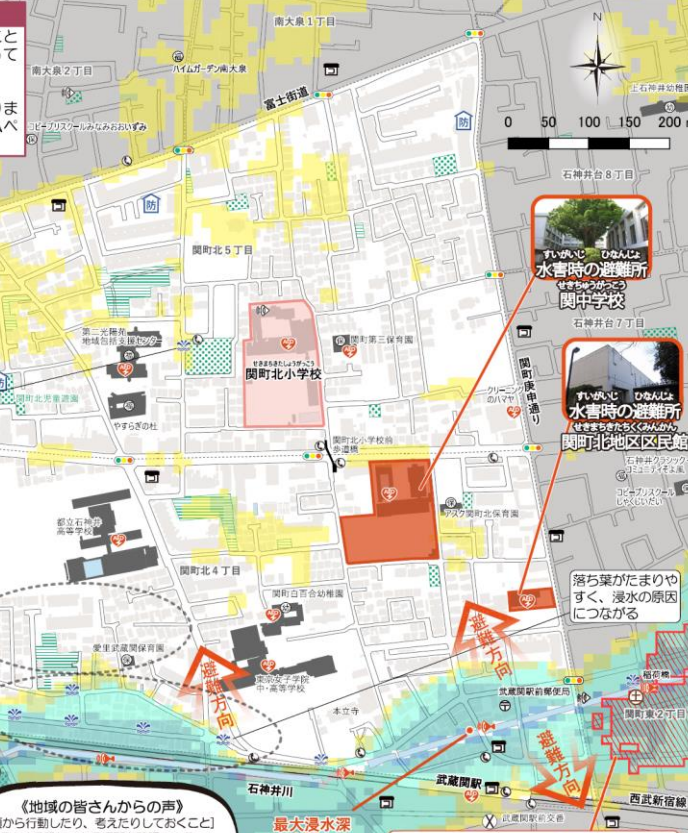
北側に避難する際、行き止まり道路に注意
道に高低差があり、高い北側から南側へ水が流れる

土のうステーション

いつでも持ち出し事ができます。

石神井川沿いの地域

- 石神井川は、短時間の豪雨で急に水位が上がリ、氾濫することがあります。
- 川の氾濫より前に、降った雨が排水しきれずに冠水することもあります。



《地域の皆さんからの声》

(日頃から行動したり、考えたりしておくこと)

- ・浸水する恐れのある場所を確認しよう
- ・水害時の避難先を状況に応じて検討しておく
- ・自宅付近の排水溝の掃除をしよう
- ・浸水想定地域内で自宅がある人も水害時の防災訓練などに参加しよう
- ・災害が発生したら、気をつけること
- ・水害時、雨がひどくなる前に早めに避難しよう
- ・浸水時のマンホールは、蓋が外れる可能性があるため、注意しよう

最大浸水深 4.92m

家屋倒壊等氾濫想定区域 (斜線の枠内) 石神井川が氾濫した場合、水のかたで一般的な木造家屋が流出・倒壊する恐れがあります。

マイ・タイムラインを

使って、早めに避難を！
避難が完了したら、安全な建物の2階以上へ！

避難のタイミングを決めて「マイ・タイムライン」に家族の行動をまとめておきましょう。マイ・タイムラインシートは「防災の手引」に付属しています。

もしものときの避難する場所等

- 避難所
- 避難所(危険がからぬ高層・高層型)

※階層状況や地域の危険性に応じて避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況をホームページ等でご確認ください。

※河川の氾濫・浸水等の危険性がさらに高まった場合は、②の避難所の他にも区立が中学校を避難所として開設することがあります。

災害時に役立つ資源

- 防災資器材格納庫
- AED

準備・避難時に必要な情報

- 水位警報塔
- 防災無線(放送塔)
- 土のうステーション
- 水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等

- ① 交番
- ② 保育園
- ③ 幼稚園
- ④ 福祉施設等
- ⑤ 公民館
- ⑥ 郵便局
- ⑦ コンビニエンスストア
- ⑧ 公園・児童遊園
- ⑨ 緑地等

浸水深の目安

- 5.0m 2階の屋根以上が浸水する
- 3.0m 2階の軒下まで浸水する
- 2.0m 2階の床まで浸水する
- 1.0m 1階の軒下まで浸水する
- 0.5m 床上(大人の腰まで)の浸水
- 0.1m 床下(大人の膝まで)の浸水

※この浸水深は、想定し得る最大降雨(時間最大13mm、総雨量60mm)の上の値です。測量法に基づく国土地理院承認(使用)R3Hs 658